第２学年　道徳指導案

　　　場　所　　　　　　　教室

授業者　 Ｔ１

Ｔ２

　　　　Ｔ３

１　主題名　　　　Ｂ－（６）思いやり、感謝

２　教材名　　　　『みんなで跳んだ』（明るい人生）

　　　　　　　　　『みんなで跳んだ』動画（フジテレビ『エチカの鏡』平成２０年１０月１９日放送）

３　ねらい　　　　誰に対しても深い理解と思いやりの心をもって接しようとする気持ちを高める。

４　主題設定の理由

　（１）道徳的価値について

　　　　この教材は，「他者に対して思いやりの心をもって接する」ことをねらいとしている。優しい気持ちをもちながらも，恥ずかしさやタイミングを逸することで，素直に表現できないことがある。どんな場面でも相手のことを考え，思いやりの心をもって素直に行動することは難しい。また，自分中心の考え方をしたり，自分勝手な行動をとったりすることもある。人間は一人だけで生きていくことはできない。他者とかかわり合う中で互いに支え合い，助け合い生きている。「自分さえよければ」という利己的な考えを抑え，他者に気を配り，思いやりの心をもって過ごすことの大切さに気付かせ，その気持ちを素直に表現していく態度を育てたいと考え，本主題を設定した。

　（２）生徒の実態について

　　　　２年生は，○組男子７名，女子１３名，Ｆ組（特別支援学級）男子１名で構成されている。学級目標「跳べ！ＨＥＲＯＥＳ！～失敗上等　青春敢行～」を掲げ，一致団結を常に意識し，クラスの一人一人の輝きを大切に過ごしている。作中祭の合唱コンクールに向けて，最優秀賞の獲得という目標を掲げ，全員で率先して朝練に取り組んだり，アドバイスし合ったりする姿が見られた。また，コンクール直前には，全員でお弁当を食べて気持ちを高めたり，教師を含め全員で円陣を組んで心を一つにしたりするなど，クラス全員で取り組むことを大事にする姿が見られた。しかし，日常生活では，幾つかのグループに分かれ，相手の考えや個性を受け入れられなかったり，孤立したりする生徒もいる。また，他者を思いやる心をもっていながらも，周りの目を気にしたり，恥ずかしさから素直に行動できなかったりする生徒もいる。そこで，人それぞれに個性があり，考え方も様々ということに気づかせると共に，誰に対しても思いやりの心をもって接しようという気持ちを高めさせたいと考えた。

（３）教材について

　　　本教材は，神奈川県の中学校で実際にあった出来事を朝日新聞のコラム記事として紹介したものである。運動会を間近に控えた２年１組で，「大縄跳び」について議論が行われた。足が不自由な主人公が引っかかってしまい，うまく跳べないことをきっかけに， 勝つためにこの生徒を外すか，それとも一緒に跳ぶかについて話し合う。全員で楽しく跳びたい，本人に嫌な思いをさせないために外すべきだ，本人の気持ちを優先するべきだ，など人それぞれの考えがあり，その考えの根底には思いやりの心があるということを押さえておきたい。そして，主人公の気持ちを大切にしたいという思いこそが「思いやり」であるということに気づかせたい。様々な個性があることを知り，十人十色というように，考え方はひとそれぞれであることを認め，誰に対しても思いやりの心をもって接しようとする生徒を育てたい。

　　　また，本教材では，一人一人の心の葛藤を読み取らせたいので，２時間扱いで行う。第１時で本文の内容を読み取り，登場人物のそれぞれの考えを整理する。第２時で登場人物の心の葛藤を読み取り，考えを深めることで，思いやりとはどういうことかを考えていきたい。そして，誰に対しても深い理解と思いやりの心をもって接しようとする気持ちを高めさせたい。

５　本時の指導（２/２時）

　（１）準備：道徳プリント，パソコン，ＴＶ，ＤＶＤ，名札

　（２）展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 分 | 授業の流れ | ※指導上の留意点　☆教師の支援 |
| 0 | ・前時の学習をふり返る　　　　　※前時に資料の前半を読み，“みんなで跳ぶ”“入れないで跳ぶ”“迷っている”の立場のそれぞれの考えを整理しておく。 |  |
| 3  12      25  27  40  45 | ○『みんなで跳んだ』前半を役割り読みする  それぞれの立場の整理しよう  ○“みんなで跳ぶ”“入れないで跳ぶ”“迷っている”と考えている理由を整理することで，一人一人の思いを知る  Ｔ１　　　　　　　　　　　　　　　Ｔ２  **【入れないで跳ぶ】**  ・１位になれてうれしかった  ・運動会も優勝したい  ・矢部ちゃんが入ると勝てない  ・声をかけることだって，みんなと一緒にやっていること  ・矢部ちゃんがひっかかるのを見たら逆にかわいそう  **【みんなで跳ぶ】**  ・差別しているみたい  ・矢部ちゃんが入って２年１組  ・チームワークが大切  ・クラスのまとまりを作るのが大事  ・本人は跳びたい気持ちがある    **【迷っている】**  ・一回外しておいて「一緒に跳ぼう」というのは自分勝手。反対ではないけど…  ・勝つために練習してきたのに，本当にこれでいいのか  ・前半跳んで，後半応援係  ・無理にやらせて恥をかかせるのはよくないけど，本人の気持ちがあるならやらせたい  Ｔ３  ○『みんなで跳んだ』後半を範読する  「今まで通りやりたい」と言っていた大竹が，全く逆の意見に立場を変えたものは何だったのか？  ○ワークシートに記入し，発表する  ・「跳びたい」という  矢部ちゃんの意志を大事  にしたい  ・矢部ちゃんへの思い  ・矢部ちゃんは我慢してき・た→今度は僕たち  ・矢部ちゃんの気持ちを最  優先しよう  ・みんなで跳ぶことに価値  がある  ・半分入って半分抜けるのは解決にならない  ・両方入っても半分入ってもビリになる  ・どっちかが我慢，どっちかを選ぶべき  ・中途半端はだめ  ・チームワークが大事  ○運動会当日の大縄跳びの映像を流す  思いやりとはどういうことだと思いますか？  ・お互いを理解し合うこと　　・お互いの気持ちを考えて行動すること  今日の授業で感じたことをプリントに書きましょう  ・授業のふり返りを記入する。 | ☆Ｔ2板書  ※１３名が前に出て役割り読みをする。名札を付け，視覚的にも分かりやすくする。  ※３つの立場に分かれ，そう考える理由をワークシートに整理させる。３つのグループ分けは，生徒の考えではなく，教室の座席で教師が分ける。  入れないで跳ぶ  みんなで跳ぶ  迷っている  教卓  ☆Ｔ３特別支援学級生徒に支援  ※教師もそれぞれの立場に入り，一緒に理由を整理したり，声かけをしたりする。  ☆３つの意見を生徒が見て整理しやすいように板書する  ※全員起立させ，全員に発表させる。  ☆中心発問で出た意見から，他者を理解し，思いやりをもって接することの大切さをまとめる。  ※運動会当日の映像を流す。  ※最後に柏木先生の言葉を伝える  ☆Ｔ３ ＴＶ操作  ※１時間での生徒の考えの変容を見る。 |

（３）評価

・誰に対しても深い理解と思いやりの心をもって接しようとする気持ちを高めることができたか(発言・ワークシート)